



ニワトリガキ（二枚貝類シュモクガイ科） *Malvifundus regulus*

大きさ：殻長 9cm ほど。

潮とおしのいいモートやリーフ水路の岩礫下の、低潮線直下に生息する。殻の形は不定である。

岩礁のすき間や転石裏に足糸で固着して生活する。プランクトンなどをろ過して食うと考えられている。

写真の個体は、砂質のマツバウミジグサと思われる藻場で観察したものである。

カキの仲間は、岩の表面にしっかりと付着している印象を受けるが、ニワトリガキは、砂に突き刺さっているという、少し面白い光景でもある。 泡瀬干潟ではあちらこちらで観察することができる貝の仲間である。